



式辞を述べる吉田部長

宗宮泰子、加藤絹子、廣瀬洋子

◇歴代副部長

大塚優子、和田八重子、有城喜代子（故人）、澤田豊子、河瀬キヨ子、西田栄子、細野美佐子、足助順子、林明美、出口幸子、中井孝枝、清水カヨ子、佐藤淑子、小林順子、伊丹保枝、平山多美子、濱野優子、岩城裕美子、高山富恵、兒玉直子

◇歴代事務局

浅野ルミ子、古川美穂、小別菜津美、山品まゆか、高木美枝

## 「NOSA I 北海道」発足 組合長に岡田氏（芽室）

2022年4月1日（金）

十勝NOSA Iなど道内の5農業共済組合が1日に合併し、新組合「北海道農業共済組合」（NOSA I 北海道）が発足した。同日午前札幌市内で開かれた理事会で、組合長に岡田恒博氏（71）＝芽室町＝が選ばれた。

合併したのは十勝（帯広市）、みなみ北海道（札幌市）、北海道中央（深川市）、北海道ひがし（根室管内中標津町）、オホーツク（北見市）。組合員数は十勝の約4,700人を合わせて全道で約2万8,000人。事業規模は全国最大になった。

岡田氏は1951年芽室町生まれ、帯広農業高卒。2011年に旧十勝NOSA I 組合長となり、17年には北海道農業共済組合連合会（北海道NOSA I）の会長に就任。今回の合併では新組合設立委員長を務めていた。

合併で帯広市川西町の旧十勝NOSA Iの本所は「統括センター」に移行した。管内各地の診療所などの業務はこれまで通り続ける。

農業共済は、自然災害など農業災害対策の大きな柱で、組合員が受けた損失を補填（ほてん）し、農業経営のセーフティーネットになっている。自然災害が頻発する中、合併で全道規模の組織になることで被害の危険分散を図り、早期の共済金支払いが可能になる。また事務の一体化などで効率的な組織運営を図る。



岡田恒博氏

## 新部会長に折笠氏（幕別） 「十勝農業に磨き」

2022年4月9日（土）

### 同友会とかち支部農業経営部会総会

道中小企業家同友会とかち支部農業経営部会の定時総会が7日、帯広市内の北海道ホテルで開かれ、小倉修二氏に代わる新部長に折笠健氏（53）＝幕別町、折笠農場社長＝を選んだ。任期は1年。

新年度の活動方針には、「環境の持続性」の視点を盛り込んだ。オーガニックやSDGs、アニマルウェルフェアなどの取り組みに関する学習機会をつくって行動していく。折笠氏は「十勝農業の強みを再認識し、磨きをかけて提案していく。環境に貢献できる活動をしていきたい」と話した。



折笠健氏